

## 牛RSウイルス病の流行期です！

冬は牛RSウイルス病の流行期です。過去に管内でも、2月、3月に牛群内で急速に伝播した事例が確認されています。

高熱、肺炎、成長遅延、泌乳量減少のほか、重症例では死亡することもあります。寒冷ストレスの除去、適度な換気、関係者の牛舎入退場時の消毒、ワクチン接種などの衛生対策に努めましょう。

### <牛RSウイルス病の概要>

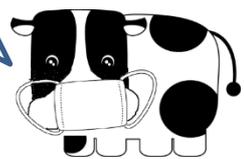
#### ◆ 発生状況、症状等

- ・牛RSウイルスは国内に定着しており、寒冷期に好発します。
- ・「風邪」症状が2週間程度で回復する場合から、重度の肺炎で死亡する場合があります。
- ・伝播スピードが速く(数日で牛舎内に蔓延)、発熱、発咳、鼻漏、流涙があり、乳牛では乳量の著しい減少があります。
- ・**対症療法が中心で、ウイルスに対する有効な治療薬はありません。**

#### ◆ 予防と対策

- ・牛舎内外の清掃と消毒を徹底しましょう。
- ・寒冷ストレスに注意しながら適切な換気を行い、飼養環境を良好に保ちましょう。
- ・関係者以外の牛舎内への出入りを制限しましょう。
- ・農場、牛舎へ出入りの際は、履物を踏み込み消毒槽で消毒しましょう。
- ・ワクチンが市販されていますので、お勧めします。

主に冬期に発生しますが、  
輸送や群の再編などで子  
牛が発症する場合や、呼吸  
器複合感染症の引き金に  
なる場合があります！



ワクチンの種類・名称	対象疾病	接種料金*	留意事項
5種混合生ワクチン	RS、IBR、PI3、AD、BVD-MD	1,950 円	妊娠牛には使用できない。子牛、育成牛、肥育牛向け。
6種混合ワクチン	RS、IBR、PI3、AD、BVD-MD(不活化2価)	2,280 円	妊娠牛にも使用できる。成乳用牛、繁殖和牛向け。

\*接種料金は、伊那諏訪家畜産物衛生指導協会の平成28年度の1頭当たりの料金(税込)です。ワクチン接種にあたっては、獣医師もしくは家畜保健衛生所にご相談ください。

## 韓国等近隣国で口蹄疫が続発

韓国で口蹄疫の発生が継続しています。また、中国、ロシアでも本病の発生が継続して確認されています。これから春節(1月28日、休みは1月27日~2月2日)を迎えるため、アジア地域からの人・物の移動が盛んになると考えられ、家畜伝染病の病原体が侵入するリスクは極めて高い状況で、十分に注意する必要があります。**発生予防のため、飼養衛生管理基準を遵守してください。疑わしい症状は直ちに通報をお願いします。**